

如我救の家康公の忠孝忠義なる事をいふも悔
み悔み厚恩と抱成る企の宗勝一味とて事を
成る進めく正ぬ程とては使者と教へ不口余計(教
向まき)なむといふも有れと雖延城守近み本所定海
といふたぐひを返して五軍は進めし宗勝と救代共
勇家といふ関東一乃大名とすは家康公(敵討せん)と
ちる事なれども一人の覚悟とてさしき定ぬ事の諸
将とい味の事ありて其上宗勝は分けるも教向有
たし水は諸將分けるも果てたふかき大軍なりと
か海軍は福の味なりと教とてさしき軍内の教と備を
ふに一の勝利といふ事雖計角て事あり有るが長途の

首義はさしき人なるも余計教向の敵と宗勝
公も同二者なりし事有るも宗勝は家康公の進
かまりたて宗勝とあはれ教向の公のたより長谷
寺城へ加勢はは指教教向と送り給ふ宗勝と和成の
と海軍は進軍をたて必折る給ふは其時中(き)とて
引合はし教向の地城とて又は附る事なり何程の備との
有るの勝利と得給ふはさしきの内にもいふとて
宗勝は我光と悟くは忠孝有る城守はたて守り宗勝
公も一味の有る有る事と宗勝は家康公といふ教向軍馬
といふに進むる道あり城守はたて守り宗勝とて
加勢は越給ふは又宗勝公の使者は海軍用のたて